

わかやまの多面ニュース

# みんなの **ためN!** だより

Vol.10

(令和7年9月)



## 高めよう **地域協働**の力！



活動組織の紹介①・・・・・・・・・・P2



活動組織の紹介②・・・・・・・・・・P3



みどりチェックについて・・P3



環境負荷低減について・・・・・・・・P4



研修会のお知らせ・・・・・・・・P4



発行：和歌山県地域活動推進協議会

# はじめに

多面的機能支払交付金制度は、第3期対策がスタートし、新たな加算措置や制度の見直しがされています。今号では、みどりチェックを簡単に紹介していますので参考にしてください。さて、今回の活動紹介は、有田川町「沼地区活動組織」です。また紀の川市「神戸環境保全ネットワーク」の生き物調査にお邪魔したので、少しご紹介させていただきます。

## 活動組織の紹介①

活動組織：沼地区活動組織

取組開始：平成26年度

取組面積：活動面積1,396 a

(田 273 a、畑 1,106 a)

保全施設：水路4.4km、農道9.1km

構成員：14人

沼地区は、有田川町の山間部に位置し、国内随一の傾斜度と言われる「沼の棚田」が広がる景色の美しい地域です。

近年ではぶどう山椒の栽培も盛んです。

### ■ 活動内容

有田川町で全国棚田サミットが開催された時、学生さんからの「棚田保全ボランティア」のアイデアが出されたことがきっかけで「沼の農業を守る会」が立ち上げられ、活動組織の取組も始まりました。当初から和歌山大学観光学部（棚田ふぁむ）との交流がありました。

今回お話を伺った代表の伊澤さんは、組織が設立されてから3代目の代表だそうで、構成員の年齢層は50代から90代。その90代のお二人はまだまだ元気に活躍してくれているそうで、たいへん心強いですね。

大学生には、田植え、稲刈り、棚田に行くまでの道の草刈りや獣害柵の見回りを一緒にしてもらっています。

また10月には五穀豊穡を祝う秋祭り（地元の白山神社への餅奉納）や1月の初天神など地域の伝統行事にも参加してもらい、地元料理（わさび寿司など）の体験や行事の運営など伝統文化の継承にも努めています。



今年の6月には、町と協力して棚田ウォークを開催した時、大学生にも運営のお手伝いをいただきました。沼地区での開催は初めてだったそうで、棚田と山椒畑を眺めながら、沼の史跡を案内したり。

歩いた後には、地域の皆さんで地元の旬の味覚をふるまい、おもてなしに大張り切りだったそうです。

近年ではコロナ禍から、学生さんの参加が減ってきているそうですが、今後も地域の活性化のため続けていきたいという思いが伝わってきました。

昨年寄合いワークショップを開いたそうで、沼地域の皆さんがいろんな意見を出し合った結果、一番見晴らしの良いところに桜の木や花を植えて景観を整えることにより、沼の棚田を見に来てもらい地域に元気を与えてもらえたらうれしいとのことでした。近々地域の皆さんの思いが実現しそうで楽しみです。





## 活動組織の紹介②

活動組織：神戸環境保全ネットワーク

参加組織：神戸自治区、貴志川土地改良区、平池水利組合、  
平池財産区、中貴志小学校、更正保護女性会

神戸環境保全ネットワークでは、平成20年度から毎年恒例の取組で中貴志小学校4年生の児童を対象とした生き物調査が行われています。この活動が長く続いているのも構成団体の皆さんと行政機関の協力があってこそだと思います。

今回は、9月3日に実施され、52人の児童が参加しました。

児童たちが水路に入れるのは、この時だけということで、楽しそうに網で生き物を捕まえていました。今年は雨が少なかったのと、長引く暑さで魚も少なかったようですが、ドジョウやカワムツ、ヌマガエルなど数種類の生き物を見つけていました。

水路から上がったあとは、環境アドバイザーである有本先生から捕獲した生き物について詳しいお話を頂きました。児童たちには生態系への理解が深まったのではないのでしょうか。

また水質簡易検査（COD/PH）の実験も行い、身近な水路の環境のことにも意識ができるよい機会になったと思います。

最後に、水土里ネット和歌山の前田主幹が水路の重要性について質問を織り交ぜながら農業のために必要な水のことについて意見を発表している児童たちの生き生きとした顔が印象的でした。

こうして地域の皆さんが中心となった生き物調査を通じて、児童たちも農地や水路のことに興味を持ち、これからも自然環境を守っていくことの大切さが学べたのではないのでしょうか。



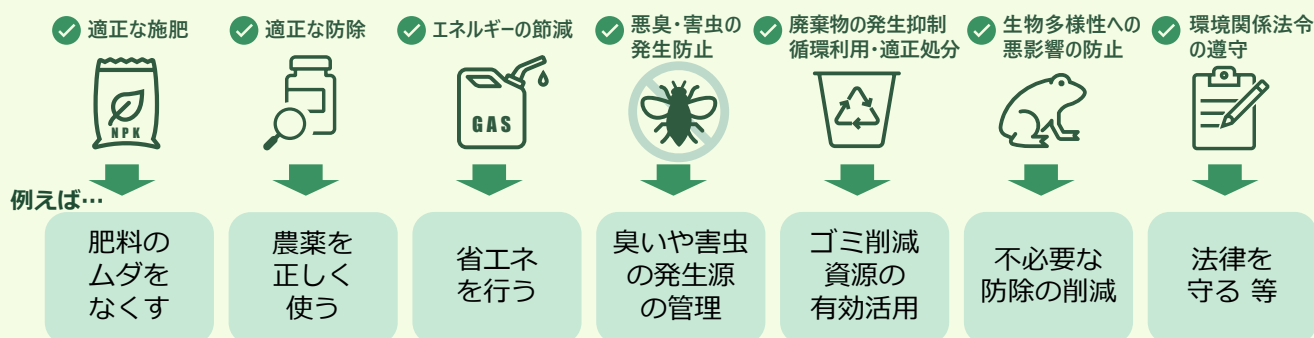
## みどりチェックについて

※農林水産省の全ての補助事業等が対象です。

令和7年度から、**全ての活動組織**が「環境負荷低減のチェックシート」に取り組む内容を記入して市町村に提出されていると思います。該当項目には毎年度実施する必要がありますが、報告は活動最終年度です。

### 「みどりチェック」の7つの基本的な取組とポイント

（農林水産省ホームページより）



みどりチェックは、環境にやさしい農業のために必要な最低限の取組で、少しの意識で取り組める内容です。

## 環境負荷低減について

※加算措置の対象になります。

どうして農林水産業で環境負荷低減に取り組まなければならないの？

農林水産業には環境により多面的機能がある一方で、環境に負荷を与えている側面もあります。

○加算措置の取組内容

- 長期中干し、冬期湛水、夏期湛水、中干し延期、江の設置等（1つ以上の実施）
- 化学肥料及び科学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから原則5割以上低減（みどりチェック項目に該当）



「みどりチェック」は誰もが取り組める環境負荷低減への「初めの一歩」です。

## 研修会のお知らせ

今年度の研修会予定をお知らせします。例年の研修内容に加えて、獣害対策や活動組織の体制強化に向けた外部団体との連携について事例紹介などを予定しております。

会場名	開催日	研修施設名	研修室名	予定人数
紀北会場	10月30日（木） 13時30分～16時	粉河ふるさとセンター 紀の川市粉河580	小ホール	120
紀南会場	11月7日（金） 13時30分～16時	日高川交流センター 日高川町高津尾718-3	会議室 1・2・3	100

○講義内容

1. 令和7年度多面的機能支払交付金活動についてのお知らせ  
書類作成の注意点、水路補修に関する研修、安全研修、獣害対策等
2. 和歌山県 里地里山振興室からのお知らせ  
・加算措置、みどりチェックについて    ・外部団体とのマッチング取組事例について



## 編集後記

今回取材で有田川町清水地域を訪れました。山間部ということもあり、吹く風で少し秋を感じることができました。平野部でも朝夕は暑さも和らいできたように思いますが、日中はまだしばらく暑さが続きそうです。生き物調査の日も午前中でしたが、すぐに暑くなりますね。農作業の際には熱中症に充分ご注意ください。

◎お問い合わせ先

和歌山県地域活動推進協議会（事務局：水土里ネット和歌山）  
〒640-8249 和歌山市雑賀屋町1番地 ☎ 073-432-2567

◎関連資料

農林水産省HP [https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen\\_siharai.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html)